戦場ヶ原における鹿対策

戦場ヶ原では、防止柵を使って、鹿害から湿原の植物を守り、自然環境の保全を行う取り組みがなされています。1980年代から奥日光の鹿の生息数は増え続け、鹿が植物を食べすぎてしまうことによる害が出てしまっています。環境省は2001年、湿原やその周辺の植生と、森林を支えてきた繊細なバランスを保つため、これらのフェンスを設置しました。このフェンスは、鹿以外の生物は自由に出入りできるよう設計されており、同時に湿地の風景に影響が無いように配慮されています。